

Smile

26年 9月
第52号

麦久保園だより

HP <http://www.mugikubo.jp>

E-mail mugi@dream.ocn.ne.jp

◆少年との社会参加活動

西多摩保護司会 会長 吉澤 洋子

萩の花が咲き乱れ、草むらの虫のコーラスに秋の気配を感じる季節になりました。

麦久保園様の基本理念とされているノーマライゼーションのもと、ご利用される方々の人権を尊重し、ご利用者とのコミュニケーションによる信頼関係の構築、職員の方も「成長は言葉、行動、気配りで」の目標を掲げ、人間愛に溢れたあたたかな雰囲気の中で十五年間の長きに渡る西多摩地区保護司会社参加活動に対するご理解とご支援、ご協力に感謝を申し上げ、少年と参加した日の一ページをめくってみました。

少年は当初「年寄り嫌いだ。」と活動への参加を嫌がっていました。少年との面接の時、自身の祖母、両親、家族の将来について話題にしているうちに、「まあ：参加してみようかな。」と活動日の朝、麦久保園様の迎いのバスに乗り込むと、運転手さんの「おはようございます、ご苦労様です。一日よろしくお願います。」と明るく大きな声に、普段は言葉少なくボソツと話す少年は、小さな声で「よろしくお願します。……」

緑の木々に囲まれた園に着くと、園長さんを始め職員の皆様が笑顔で出迎えて下さる様子に少年は戸惑い、フロアーにいらしたお年寄りの姿と職員の方の対応を目にした時、少年の身体が固まり顔色が青ざめて来ました。今日の活動参加は無理だったのかし

らと、私自身の心も大変動揺し少年と静かに他の人の活動を見学する事に致しました。しばらくすると何も出来ない自分に気付いたのかモップを手に床を拭き始めました。その時車イスに乗ったお婆様が「ありがとう、きれいになって嬉しい。」と通りすがりに声を掛けて下さいました。すると少年の青ざめた顔がフワッと赤くなり、固く結んだ口元が緩み「シート交換もやってみようかな。」と居室に入りぎこち無い手つきながら職員の方からの手順の説明通りに動きながら、「家ではこの仕事はお母さんがやってくれている。」等口数も増え、私の心もホッと致しました。午後のお散歩のお供の時間には「私はこのお兄さんと一緒に良い、私若い頃は金町小町と呼ばれていたのよ、お兄さんは背も高いしハンサムだから、私はお兄さんのファンになるね。」と言われ戸惑いと照れる姿がとて少年らしく、周りの方々から「良かったね、選ばれて。」の声掛け、足元がふらつき気味の自称金町小町のお婆様に腕を組まれ散歩に出掛け明るく楽しい会話にすっかりとり込まれ、声を出して笑う顔は初めて見た素直な十六才の少年の姿で「ありがとうまた一緒に散歩してね、楽しかった、園に帰っておやつの時も隣りに座ってね。」活動の終わりには園の方々からの感謝の言葉をいただき、活動の感想を聞かれ「本当は今日参加したくなかったが良い経験が出来ました。」と少年はニッコリ、他の少年は「めんどくさいと思ったけどやってみて良かった、老人が必死に生きる姿を見てすごく感動した。」「自分の母親も介護の仕事をしているので仕事の理解が出来た。」

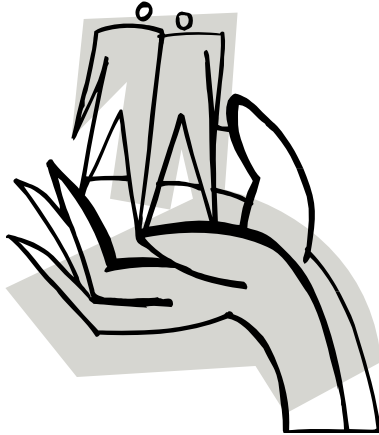
この活動を通して新たな社会経験を積むと共に、他者から活動を評価されることによって自己有用感を得たり、他者を思いやる心に気付く等、活動を通じて人と人との関わりから自分も出来るという気持ちに繋がるのでしょうか。

今、少年は祖父母の住む九州鹿児島介護施設で働いています。との手紙が届きました。



第41回 国際福祉機器展開催

世界の最新福祉機器を総合展示
今年も10月1日〜3日、東京ビッグサイトにて行われます。ご興味のある方は是非足を運んでみては如何でしょうか。



「エコキュートシステム」導入

開園時から使用している給湯設備の内、特に「ボイラー設備」は老朽化による故障のリスクが大きくなりました。使用期間が長くなった事で修理、保守に係る維持、管理費が増加して来ました。更に故障箇所、程度によっては交換部品の入手が困難な状況にあり、「場合によっては修理不可能」との報告を設備管理担当者から受けていました。ボイラー設備の故障は、厨房を除く他の生活に係る給湯が停止する事になり、「入浴」も実施出来なくなります。そこで予てよりボイラー設備に係る給湯設備を検討して来ました。ただ入替えには多額の資金が必要な為、選定には複数の提案を受ける中で当園にとって最も費用対効果の期待出来るシステムを選定しました。エコキュートシステムの導入により安定した「お湯」の確保が可能になり生活環境の充実が図られ更に効率的な給湯による燃料費等のコスト削減も期待出来ます。



「車イス対応送迎支援車」導入

去る5月21日、新たに車イス対応送迎支援車（フリード）を導入しました。従来より送迎支援車はありましたが、買い物や食事外出、病院受診等の外出支援を必要とする機会の増加に加え、ショートステイをご利用される方で送迎を希望される方も増加傾向にあり車イス対応送迎支援車の増車の要望が多くありました。そこで利用方法、使い勝手等を考慮して車種選定を行い導入しました。

導入から3ヶ月、日々の送迎、外出支援で活躍しています。



東京都共同募金会配分事業

「抵床型電動ベッド」整備

東京都共同募金会様の平成 26 年度共同募金第一次 A 配分を受けて、現在使用している「旧型ギャツジベッドのうち 23 台を「抵床型電動ベッド」へ入替えました。「抵床型電動ベッド」は使用開始から 19 年目を迎え一部に修理、保守を要する物が目立つようになって来ました。

出来れば旧型ベッド全ての入替えを実施したいところですが多くの資金を必要とする為、事故防止の観点から安全面で緊急度の高い物から順次更新することを計画し、今回は 23 台を入れ替える事で東京都共同募金会様のご理解、ご協力を得て入替え実施の運びとなりました。

今回の整備により以下の効果が期待出来ます。①安全性を重視し離床キャッチセンサー機能の付いた機種にした事で、転落等の事故防止に繋がりがり生活環境が大きく改善され、安全確保がより高くなります。②新たに入所を希望される方の施設選択条件が拡大し、受け入れ条件（身体的な負担）の緩和に繋がります。③抵床型電動ベッドを導入する事でベッドからの移動に係る身体的負担の軽減が図れます。更に波及効果として職員の腰痛予防に係る就労環境の改善にも繋がると思います。今回の整備にあたりご協力頂いた多くの皆様に心より御礼申し上げます。



平成 26 年度第三者評価

今年も第三者評価を実施します。今回は特定非営利法人「福祉を良くする市民の会」に依頼し行うことになりました。

評価の目的は、施設運営、ご利用者サービスに係る施設の現状を客観的に評価分析して頂く事で現状を把握し、「より良い運営」「サービスの向上」に寄与する事です。今後の予定は 9 月中旬にご利用者の皆様にご協力頂いて、聞き取り調査、職員へのアンケートの実施、11 月末頃には評価結果が出る予定です。評価結果については東京都福祉ナビゲーション（通称「福ナビ」）で確認頂けます。

「福ナビ」のアクセス <http://www.fukunavi.or.jp>

赤い羽根募金

今年も「赤い羽根共同募金」の募金活動に協力します。今年度より実施期間が平成 27 年 3 月 31 日まで延長となりました。平成 26 年 10 月 1 日より実施致します。施設内に募金箱を設置しますので、皆様のご協力をお願いします。



“インフルエンザ” “ノロウイルス” 等
感染症予防対策

今年も“インフルエンザ” “ノロウイルス” 等、
感染症の流行が心配される時期が近づいて来ましたが、
予防には“手洗い” “うがい” がとても大切です。
施設では1年を通して予防に取り組んでいます。11月1日からは更に予防強化の為、玄関に“自動手指消毒器”を設置します。
ご来園の際は“園の表示” “お願い” にご協力下さい！

感染症対策委員会

ポランティア募集集中！

① 外出時の付き添い

買い物、食事の他、ドライブ等の
外出行事の付き添い

② シーツ交換

毎週土、日に行っているシーツ交換のお手伝い

その他、ボランティアに関心のある方、活動希望の方、
ご連絡を頂ければ幸いです。

(担当 鈴木 大野まで)



※決算内容について

平成25年度決算(H26・3・31現在)に関する
内容は麦久保園ホームページに掲載しています。

(<http://www/mugikubo.jp>)

麦久保園事務所でもご覧いただけます。



9/15(月)敬老の日
当園でも“敬老の集い”
が開催されます。
地域の方々と一緒に
賑やかに祝いしたい
と思います。



《編集後記》

冷夏の予報が一転して暑い夏、そして局地的な大雨等、これも地球温暖化による異常気象が原因でしょうか？施設では生活環境の維持改善に職員一丸で日々取り組んでおります。
当誌「スマイル」は今後も更に内容の充実に努めたいと思っております。



発行所

社会福祉法人 福 信 会

特別養護老人ホーム麦久保園

短期入所生活介護(ショートステイ)

介護保険事業者番号 一三七四九〇〇一六三

居宅介護支援事業所ケアサービス麦久保

介護保険事業者番号 一三七五二〇〇一五九

〒一九七〇八〇二 あきる野市草花二、二二九

TEL 〇四二一五五〇一三二〇一(代)

FAX 〇四二一五五〇一三二一八

発行人 野村 和郎

編集 麦久保園広報委員会